

岩出市立小中学校「コミスク」通信

令和5年度第8号（通算18号） 令和6年2月21日 岩出市教育委員会

2月も半ばを過ぎ、今年度の総括が始まる時期となりました。梅の花も満開が近くなり、春の暖かさを感じる気候になってきました。学校では相変わらず様々な感染症が流行していますので、年度末の忙しい時期となりますので、健康維持には十分気を付けて下さい。

【 学校支援ボランティア大活躍！ 】

3学期に入っても多くの学校支援ボランティアの皆さんに学校活動をお手伝いいただいています。



「校内整美」



「図書整理」



「1年昔遊び指導」



児童会「能登半島地震募金」協力

【 第3回学校運営協議会 】

早い学校では、今月初旬に第3回目の「学校運営協議会」が開催されました。今月末から3月にかけて開催予定の学校が多く、学校活動の報告、学校評価の外部評価、今年度の総括、来年度に向けての取組の検討、様々な学校や地域の課題についての意見交換などが行われます。（右の写真は中央小学校 2/5）



【 岩出市学校運営協議会連絡協議会（2/13・20） 】



今年度は、岩出市立小中学校での「きのくにコミュニティスクール」の推進に向けた研修会を8月22日に開催しましたが、学校運営協議会を進める上での個別の課題を出し合って協議するために、4校ずつ2回に分けて協議会を開催しました。この会には、県教委の担当者と県CSマイスターの音無長裕さんにも同席いただき、進行と助言をお願いしました。各学校からコミスクの状況説明があり、その後困り感のある学校運営協議会の持ち方、委員の選定、教職員の参画等について出しました。

これらに対して、音無CSマイスターから次のようなアドバイスをいただきました。

- 協議会を情報交換の場から熟議の場にするために事前の会議書類送付。協議会のグランドデザインや年間活動計画の作成。承認したスクールプランの達成に向けて委員全員で責任を持った活動。
- ボランティア募集の文書を協議会とPTAの連名で出すことで、協議会の存在や活動を啓発。
- 教職員と協議会の接点を増やすため、協議会への参加機会の工夫、共同の研修会開催の計画。
- 地域学習を工夫することで、希薄な状態にある地域とのつながりを強める工夫が必要。
- 新たなことを始めるのではなく、現行の学校活動をグレードアップするために手伝ってもらった感覚で。

【 令和6年度ボランティア登録 】

「3月広報」で来年度のボランティア登録の募集を掲載します。また、岩出市のホームページ上にも「学校支援ボランティア登録申込」のサイトを設けています。PCのインターネットでは「岩出市ホームページ>生涯学習課>子どもたちの学びを地域で応援!」または「岩出市ホームページ>生涯学習課>申請書ダウンロード」からサイトに入るか、スマートフォンで右のQRコードを読み込んで入ることができます。

